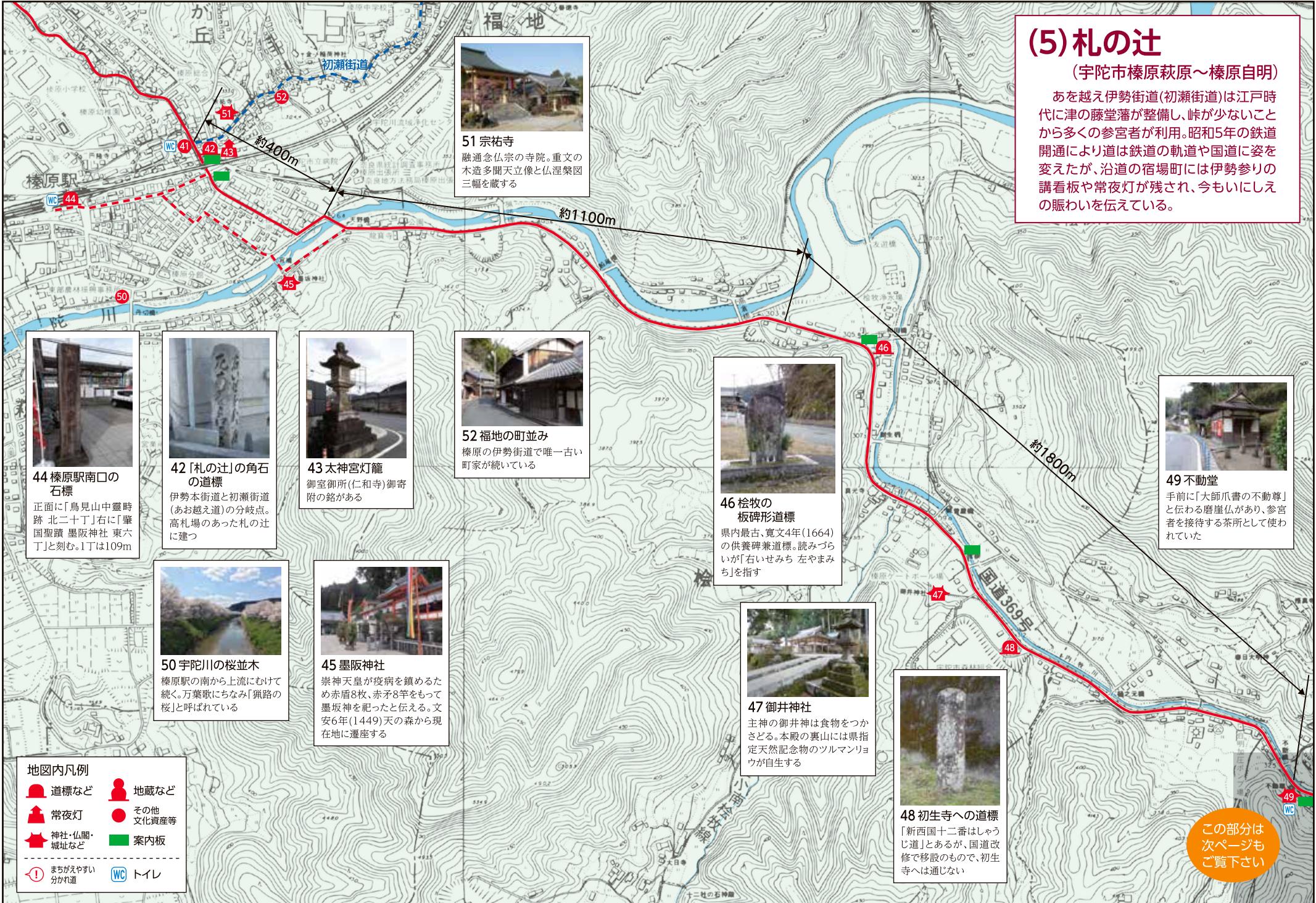


(5) 札の辻

(宇陀市榛原萩原～榛原自明)

あを越え伊勢街道(初瀬街道)は江戸時代に津の藤堂藩が整備し、峠が少ないとから多くの参宮者が利用。昭和5年の鉄道開通により道は鉄道の軌道や国道に姿を変えたが、沿道の宿場町には伊勢参りの講看板や常夜灯が残され、今もいにしえの賑わいを伝えている。



この部分は
次ページも
ご覧下さい